

令和8年3月

保護者の皆様
地域の皆様

船橋希望学舎
世田谷区立船橋小学校
校長 新藤 直美

令和8年度の学校経営について

平素より、本校の教育活動に深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、本校では学校関係者評価委員会による学校評価を受け、令和7年度の教育活動全般について振り返るとともに、次年度に向けた改善の視点についてご提言をいただきました。評価では、学校行事や学習指導、生活指導、安全面等について一定の評価をいただく一方で、家庭学習やキャリア教育の取組の伝わりにくさ、情報提供の在り方、家庭・地域との連携について課題が示されました。

本校では、これらのご指摘を真摯に受け止め、令和8年度は「学校経営方針（グランドデザイン）」を学校運営の指針として、教育活動を推進してまいります。

本校が目指すのは、子どもたちが笑顔で登校し、「今日も楽しかった。明日も来たい」と満足して帰る学校です。その土台として、「人の痛みの分かる心」を全ての教育活動の基盤に据えています。互いのよさや違いを認め合い、自分も他者も大切にできる子どもを育てることが、安心して学び、挑戦する力につながると考えているからです。

授業においては、基礎・基本の定着を大切にしながら、子ども一人一人が自分の考えをもち、友達と関わり合いながら学ぶ「探究的な学び」を進めていきます。学習のめあてや見通しをもたせ、振り返りを通して次の学びにつなげることで、学ぶ楽しさや自ら学び続ける力を育成します。その過程において、ICT 機器も学びを支える道具として適切に活用し、ルールやマナーを守りながら、よりよい使い手として考える力を育てていきます。

また、学校生活全体を通して、「子どもの出番を増やす」「子どもに考えさせ、子どもに委ねる」場面を意図的に設け、学習や行事、委員会活動、異学年活動などを通して、自分の役割や将来の生き方を意識できるよう支援してまいります。これらは、キャリア教育の視点として、日々の学校生活の中で大切にしていける取組です。

家庭学習やキャリア教育については、学校としての考え方やねらいをより分かりやすくお伝えし、ご家庭と共通理解を図りながら、子どもたちの成長を支えていきたいと考えています。併せて、学校だよりやホームページ、各種配信を通して、「学校が何を大切にし、どのような思いで教育活動を行っているのか」が伝わる情報発信に努めてまいります。

本校は、保護者・地域の皆様と同じ思いで子どもたちの成長を願い、声に耳を傾けながら、よりよい学校づくりを進めてまいります。本校の子どもたちが生き生きと学校生活を送れるように、令和8年度も教職員一同「笑顔溢れるだれにとっても楽しい学校」を合言葉に取り組んでまいります。今後とも、ご支援とご協力をお願いします。

教育目標

- ともに学ぶ船橋の子
- 自分を高める船橋の子
- ことばを大切にする船橋の子
- 地域を愛する船橋の子

令和8年度

◎「キャリア・未来デザイン教育」の実現に向けて

本校で育てたい資質・能力の一つである「人の痛みがわかる心」をキーワードに身に付けたい資質・能力を児童・教職員・保護者・地域で共有していきます。日常生活、各教科、「特別の教科 道徳」、総合的な学習の時間、特別活動、地域の教育力を活用した教育をキャリア教育の視点を意識して総合的に結び付け、年間指導計画に基づいて児童一人一人に、発達段階に応じた意図的な指導を行っていきます。また、児童がなりたい自分を意識して活動や学習に向かい、それを振り返り自分に繋げていくよう、キャリアパスポートを活用していきます。自分の役割や将来の生き方や働き方等、なりたい自分に近づく資質・能力を身に付けていくことができるように、社会・地域や異学年と関わる体験的教育活動を推進していきます。

◎多様性を尊重しながら共に学び、共に育つ教育の推進に向けて

インクルーシブ教育の理念の下、児童一人一人の個性や特性、学び方の違いを踏まえた教育活動の充実を図っていきます。授業において、学習内容や学習方法に多様性をもたせ、全ての児童が主体的に参加できる学習環境を整えるとともに、協働的な学びを推進して相互理解を深めていきます。さらに、学級活動や学校生活において、互いの違いを認め合い、支え合う態度を育成していきます。教職員が組織的に連携し、継続的な児童理解と適切な支援を実践し、安心して学び成長できる学校づくりを推進していきます。

◎地域社会と協働した教育の推進に向けて

学校運営協議会を核とし、学校支援コーディネーターを活用しながら、地域社会と協働した教育を推進していきます。学校は地域の一員としての役割を自覚し、地域との連携を生かした教育活動の充実を図っていきます。地域に息づく人材や文化、歴史などの地域の宝（人・もの・こと）を積極的に取り入れ、実体験を通じた学びを充実させることで、児童の学習意欲や理解を深めていきます。また、地域行事の活用や交流活動を通して、地域の一員としての自覚と社会性を育成していきます。地域との継続的な協働体制を構築し、学校と地域の連携を生かした、特色ある教育活動を目指します。

◎「学校における働き方改革」の推進に向けて

教職員が児童一人一人と向き合う時間を十分に確保し、教育の質の向上を図っていきます。業務内容の精選やICTの効果的な活用により校務の効率化を進めるとともに、研修（インクルーシブ教育や生活指導、授業改善等）の充実や校内における情報共有を通して教職員の対応力を高め、課題の早期把握・早期対応に努めます。また、チーム学校として組織的な支援体制を整え、勤務時間管理と健康保持に配慮した持続可能な働き方を実現することで、安定した教育活動の推進を目指します。

世田谷区の教育目標「幸せな未来をデザインし、創造するせたがやの教育」

学校の合い言葉 1

子どもの出番を増やす

子どもに考えさせる、子どもに委ねる機会を。

船橋小学校 教育目標 船橋の子

〇ともに学ぶ 〇自分を高める 〇ことばを大切にする 〇地域を愛する
それぞれが思い描く未来を実現できる子ども

学校の合い言葉 2

人の痛みが分かる心

その言動は相手や自分を幸せにするか

笑顔溢れるだれにとっても楽しい学校

- ◇ 子どもが、笑顔で登校し、「今日も楽しかった。明日も来たい。」と満足して帰る学校＝土台は「人の痛みの分かる児童」
- ◇ 保護者・地域が、信頼を寄せ、安心して子どもを通わせたいと思う学校＝学校の思いと一致し、連携して取り組む
- ◇ 教職員が、生き生きとし、自信と誇りをもって教育実践に励む学校＝高め合い協働して取り組む 働き方改革

日々の教育活動の様子は学校ホームページ等で発信

知：主体的に自分の考えや思いを表現し、多様な他者と協働しながら新たな価値（考え）をつくる子ども

徳：大人は最大の教育環境 互いのよさを認め合い、自分も他人も大切にする心豊かな子ども

体：からだを動かすことの心地よさや楽しさを味わう子ども

校内研究・研修を軸に探究的な学び×iPad

- **基本的な学習・生活規律 基礎・基本の定着**
・キュビナ活用 ・語彙 ・読書活動 ・表現や発信
・校内研究「書くこと」
- **学習スタイル＝【せたがや探究的な学び】**
・「教えてもらうことだけ」から「自ら学び取る」へ
・振り返り、次につなげる」「問いを見いだす」「解決方法を考える」「協働して学ぶ」・・・
- **iPadの利活用による授業改善**
・課題解決や発信に向けて必要な日常的な道具
・様々な表現（発信や発表）の仕方を獲得する！
・ICTのよき使い手として自分事として考える
- **地域の自然、文化、施設、人材等の教育資源（地域の教育力）を生かした学習活動**
- **学年内交換授業や合同授業、講師の活用**

意図的に場を設定する 教えて 考えさせる

- 自分のよさに気付き、自信をもち、自分を大切にする。
また、友達大好き、相手を思いやる心を育てる。
- **学校生活の基礎・基本の習得 生活スタンダード**
挨拶をする・話を聴く・時間を守る・仕事をする
人の嫌がることを言わない、しない・ありがとう
- **自分の役割や将来の生き方、なりたい自分等を繋ぐ**
(めあて・過程・振り返り→次に繋ぐ) キャリアパスポート活用
- **児童主体、児童相互の教え合い、高め合いの学習や活動。**
「誰かのため、何かのため」「上級生への憧れ」など生き方を考えることに繋がる学級・学年活動や異学年活動、全校での取組
- **いじめの未然防止・早期対応** 週1回夕会で情報共有
いじめ防止対策委員会（組織的対応 関係機関との連携）いじめ防止をねらいとした授業 WEB-QU 生活アンケート SCとの連携 5年SC全員面接 インクルーシブ教育の推進

目標をもって粘り強く取り組む

- **体力調査結果を踏まえた取組と体育授業の充実（運動量の確保）**
・5月
- **からだづくりの日常化**
・あさすぼ（ランニング なわ跳び 等）
8:25～8:35 週に2回
- **体育的行事の活用**
- **悩みや困ったときの対処法（心の健康）**
・相談の仕方や場所、解消の方策を学ぶ
- **安全な学校生活**
・月1回避難訓練 ・安ボラ隊との連携

☆ 教職員は学年会、週案・自己申告等も活用して見通しをもって指導を行う

徳・知・体の基盤を支える特別支援教育・教育相談体制

- 指導・支援の一貫性（指導や情報の全教職員共有） ● 区インクルーシブ支援チームの活用
- 支援の適切な配置（インクルーシブ教育支援員、エデュケーションアシスタント、学級経営支援教員、学校生活サポーター すまいる教員と担任の連携など） ● ほっとルーム設置
- 教職員の校内委員会を中心として、専門機関とも連携した教育相談体制の充実 ● 教職員研修の充実

保護者・地域とともに 学校運営協議会

- 地域の教育力を生かした持続可能な体制による質の高い教育の実現
- 子どもの声を生かす ・船橋希望学舎との連携